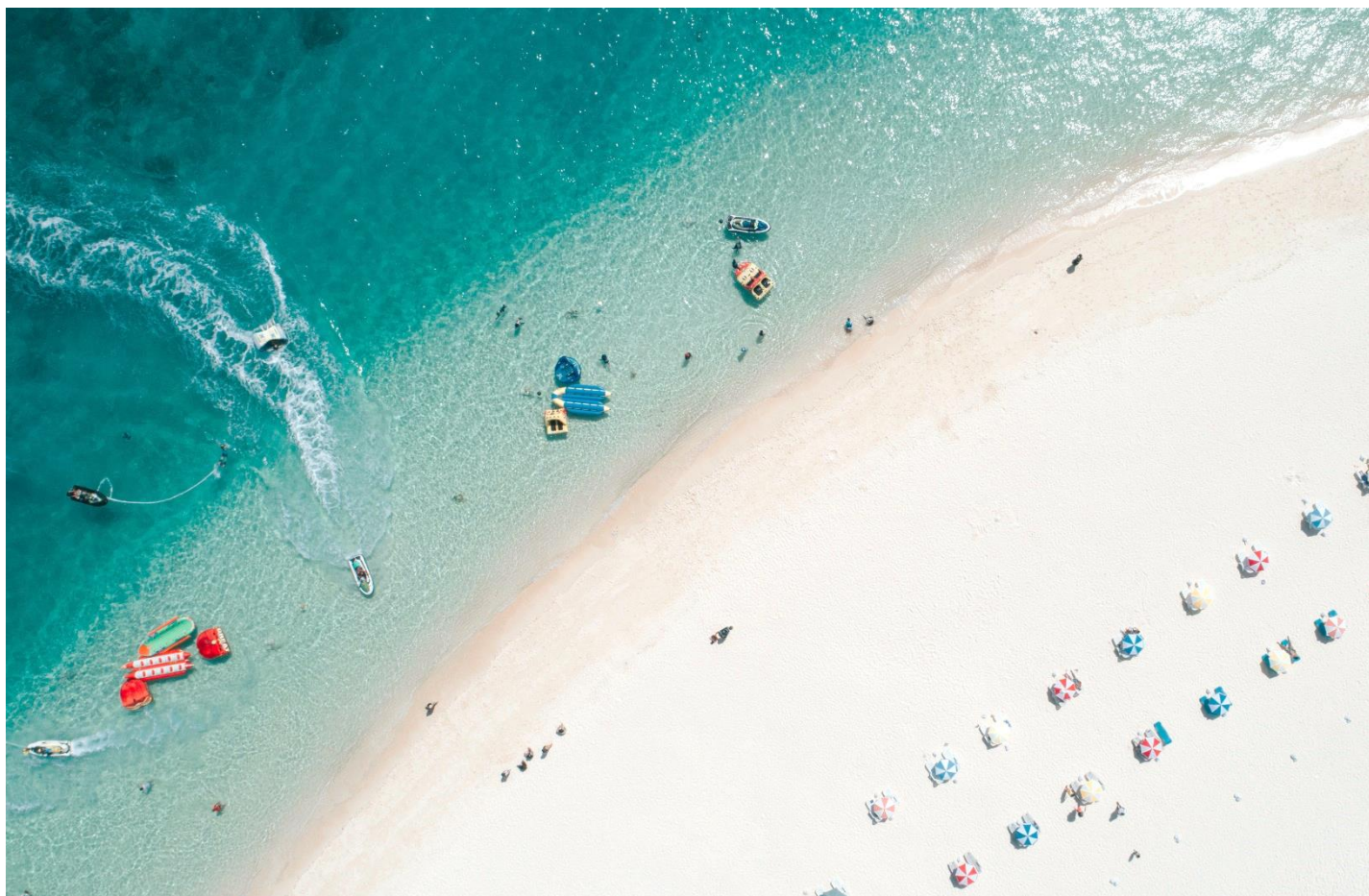


ているるちゃんがいく！

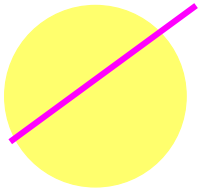
沖縄県男女共同参画センター「ているる」情報誌

Vol.55

2019.7

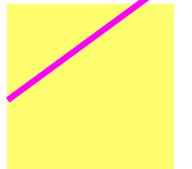


- 特集1 男女共同参画週間イベント「せやろがいおじさん×新垣誠」
- 好評連載中！ すてきなあなたにインタビュー
- 新連載！ ているる誌上講座「ロコモ予防体操×美尻」
- 受講者募集！「ているる塾」のご案内
- 事業報告と講座案内
- ご案内



令和元年度 男女共同参画週間イベント

せやろがいおじさん×新垣誠



沖縄県男女共同参画センター「ているる」ホールで6月29日(土)に沖縄県と(公財)おきなわ女性財団が主催、沖縄県男女共同参画センター「ているる」管理運営団体が共催となり令和元年度男女共同参画週間イベントを開催しました。

沖縄キリスト教学院大学人文学部長の新垣誠先生による「男女共同参画についてのレクチャー」と、お笑い芸人の「せやろがいおじさん」こと榎森耕助さん、タレントで司会の長嶺花菜さんによる「せやろがいおじさんと新垣誠のジェンダートーク」を行いました。10代から70代で幅広い年齢層の方々の参加があり、人数は200名を越えました。軽快な



新垣 誠 氏



せやろがいおじさん



長嶺 花菜 氏

トークに会場は笑いとお真剣なまなざしに包まれました。

「男女共同参画についてのレクチャー」

新垣 誠 氏 (沖縄キリスト教学院大学人文学部長)

男女共同参画について知識を深めるためのレクチャーで、「私たちは小さい頃から親しむキャラクター、与えられる服装などから無意識なジェンダーに常にならされてきている。ジェンダー意識とは男女にまつわる社会の常識のようなもの。例えば、多くの人が気配り上手というキーワードでイメージするのは女性であり、一家の大黒柱では、男性をイメージすることが多い。このジェンダー意識を超え、男はこうあるべき、女はこうあるべき、となると「意識」ではなく「規範」になる。この規範が社会からのプレッシャーとなり、時に苦しんだり、生きづらさを感じるようになってしまいう人がたくさんいる。



男らしく、女らしくよりも自分らしく生きれるようになる社会が男女共同参画社会である」と説明しました。

「せやろがいおじさんと新垣誠のジェンダートーク」

新垣 誠 氏 (沖縄キリスト教学院大学人文学部長)

せやろがいおじさん (お笑い芸人)

長嶺 花菜 (司会/タレント)

せやろがいおじさんが客席から登場し、司会の長嶺花菜さんも参加し、3人でのトークが始まりました。トークは沖縄社会にまつわるジェンダーについて、長男が大事にされる沖縄の慣習や、全国でも高い離婚率、高校の制服選択制から、LGBTを含む性的少数者、多様性についてなど幅広い内容で展開し、意見を交えました。

「沖縄は長男が家を継ぐべき。と考えている人が多い。なぜ長女が継いではいけないのか。また、仕事と家庭でも、仕事がすぐできる女性と、家事・料理がすぐできる男性の二人を、『女性は家庭、男性は仕事』というジェンダー規範にあてはめてしまうと、シンプルに効率が悪いし、不得意なことを頑張らなければならぬ生きづらい」と、せやろがいおじさんが指摘。

長嶺さんは結婚観について、「子育てしながら仕事もしたいが現実には難しい。夫婦でいろいろなことを分業したい。それぞれ向き・不向き、得意・不得意があると思う。お互い尊重しながら補っていける結婚生活がいい」と話した。

その後、せやろがいおじさんが制作したYoutube映像を会場で放映した。国会議員らが性的指向と

少子化を結び付け「同性婚を認めたらLGBT」の人のばかりになってこの国が減る」「少子化に拍車がかかる」などと発言したことに対し、せやろがいおじさんは指向と嗜好の違いにも触れ、「指向は『自分が好きになる対象を指す』女性が好きな僕が、同性婚が認められたかといって男性を好きになってみようとは思わない」と反論。

また、「多様性」の対比として「少様性」と造語で表現。「多様な社会が普通の社会であって、今の時代は少様な社会。多様性は高い目標ではない。今が低すぎるから普通に戻そうよ」という意識の方がいいと思う」と来場者に呼びかけた。

せやろがいおじさんは「社会はいい方向にいったらいいと思う。昔はLGBTの人は誰にも言えず、表に出ることができなかったが、声を出せる時代になってきた。また、お互いに尊重し合い、女性が活躍できる社会を！という時代になってきた。そんな風潮で育った若者たちがおじさんになったときに『え、そういうものじゃん』ってなるのではないかな。今が最後のしんどい時代なのかなと思う」と話した。



会場みんなでせやろがいポーズ！

長嶺さんは「自分らしいという説明がありました。自分らしいって難しいと思う。でも、男女共同参画社会には自分らしくを意識することが大切なかなと思った」と話した。

新垣先生は「必ず自分らしさを見つけて前面に出さなければいけないと思ひ悩む必要はない。もし、ジェンダー規範などにあてはめられたとき、息苦しいな、つらいな。と感じるのであれば、それは自分らしいと言えないということなので、その気持ちを大切にしてほしい」と来場者に伝えました。

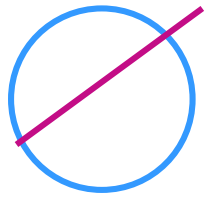
「男女共同参画週間& おきなわ女性財団25周年記念パネル展」

沖縄県男女共同参画センターエントランスホールでは、6月25日（火）から29日（土）まで、公益財団法人おきなわ女性財団主催による「男女共同参画週間&おきなわ女性財団25周年記念パネル展」を開催しました。



今回のパネル展では、沖縄県における2018年現在の女性議員輩出状況をグラフと地図イメージで視覚化し、男女共同参画推進状況、女性議員比率を市町村別ランキングで紹介しました。

政治分野における女性の参画拡大は、政治に多様な民意を反映させる観点から極めて重要でありながら、目標が制定された2003年以降も、女性議員比率は依然として低い水準にとどまっています。

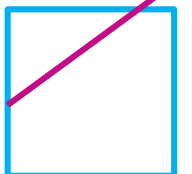


すてきなあなたにインタビュー お客様の満足と 社員ひとりひとりが輝ける場所

株式会社 碧 (へき)

代表取締役

奥間 弘子
おくま ひろこ



沖縄県で6店舗、東京、大阪にも店舗を展開している鉄板焼きステーキレストラン碧(へき)の代表取締役 奥間弘子さんにお話を伺いました。

50歳からのチャレンジ

奥間さんがステーキレストランを創業したのは50歳の頃。それまでは高校卒業後からずっと経理事務をしていたという。

「当時は今よりも定年が早く50歳くらいから『肩たたき』が始まる時代でした。定年などを考えずに働ける仕事をしたい。その頃に出会ったのが『鉄板焼』でした。」と奥間さん。当時、沖縄で鉄板焼きステーキといえば、男性がパフォーマンスをしながら調理するスタイルが多かったという。そこで碧では女性が調理・接客するスタイルを提案。お肉を焼く際もバターではなく健康に良いオリブオイルを使用し、お肉に添える野菜は旬の沖縄産材を使用したり、新しいことにどんどん挑戦していった。そんなエネルギーな奥間さんを当時、家族はどのように見ていたのでしょうか。

「創業当時は必死でした。大変なこともありました。が楽しかったです。人が好きなんです。お客様が満足して喜んでお帰りになる。」

素敵なことだと思えます。ただ、お店がオープンしてからは朝9時から夜24時まで働き詰めだったので今思うと家族には大変負担をかけていたと思います。本当に家族・友人・知人には助けられてきたと思いい感謝しています。」



調理をする女性従業員

理解と信頼、そして共有

碧では多くの女性が正社員で働いています。が、女性が働きやすい環境とは何かを伺った。「現在、碧では8名の方が育休中です。復帰され子育てしながら働いている社員もいます。産休や育休の制度はもちろんです。が、育休後も働ける環境づくりや、社員同士の理解がより必要だと思えます。子どもが急に熱を出したら保育園に迎えに行かないといけな

い等、そういった状況を理解できる職場の信頼関係は大事だと思っています。信頼関係を作るために碧では入社後3か月間の研修や、キャリアパス制度などを実施しています。トリーナーを中心にシスター、リーダーが新入社員の指導を行い、新入社員も入社半年後からシスターのキャリアパスに挑戦できます。キャリアアップの基準や要件を明確にすることでモチベーションアップにつながるのではないかと思います。また、意見を出しやすい雰囲気づくりのため、つい最近まで、ドラマ等を見て感想を出し合う勉強会を月1回開催していました。こういう事を積み重ねることにより信頼関係を築き上げています。」

更なるより良い環境に

子育てがしやすい職場にするために、株式会社碧の本社ビル内に託児スペースを作る計画があるという。「振替休日や天候など、何らかの理由で学校が休校になった場合でも社員が無理をせず安心して働ける環境を作ることが大切だと思っています。」と奥間さん。こういった株式会社碧の姿勢がお客様の満足と喜びに繋がっているのだと感じた。



昭和42年4月 沖縄工業商事株式会社入社
昭和48年9月 株式会社共栄ミート入社
昭和62年4月 神谷会計事務所入所
平成11年6月 鉄板焼きステーキレストラン 碧 開業
平成13年10月 有限会社碧設立専務取締役就任
平成17年9月 株式会社碧専務取締役就任
平成28年11月 株式会社碧代表取締役就任

仲間と伸ばす
『ワタシ』のチカラ！

令和元年度 女性人材育成事業



『てい いるる 塾』



(全6回・毎月1回開催)
塾長 玉城 デニー沖縄県知事

令和元年
『てい いるる 塾』 始動！
受講者募集中！

参加費
無料

II 『てい いるる 塾』の目指すところ

『てい いるる 塾』では、様々なライフステージの中で自分の持てる能力を最大限発揮するため、ネットワーク、マネジメント力、論理的思考力等を伸ばし、職場、家庭、地域のあらゆる場で活躍できる人材を育てます。さらに、受講生同士で刺激し合いながら学び、講座終了後も支え合う仲間となっていくネットワークづくりを目指します。

II 伸ばしたい5つの力

- ダイバーシティーマインド
- コミュニケーション系スキル
- 塾生ネットワーク
- ライフキャリアデザイン力
- ロジカル系スキル

II てい いるる 塾 受講者向け講座

職場・家庭・地域のあらゆる場面で活躍できる
人材を育成する講座です。

■期間：令和元年9月12日(木)～令和2年2月12日(水)

■場所：沖縄県男女共同参画センター「てい いるる」

9/12
(木)

10/9
(水)

11/12
(火)

12/11
(水)

1/21
(火)

2/12
(水)

(全6回・毎月1回開催)

【コーディネーター】

村山 由香里 氏

リムリムラボ代表、株式会社フロイデール執行役員
元福岡県男女共同参画センターあすばる館長

【講師】

高田 朝子 氏

モルガン・スタンレー証券会社勤務を経て、サンダーバード国際経営大学院
国際経営学修士(MIM)、慶應義塾大学大学院経営管理研究科経営学修士
(MBA)、同博士課程修了。経営学博士。専門は組織行動。

【県内女性リーダー(2名)】 後日発表！ 乞うご期待！

II 公開講座(一般公開：募集人数各回100名)

一般の方もご参加いただけます。要申込

●申込お問い合わせ
(公財)おきなわ女性財団 TEL:098-868-3717

「誰もが生きやすい社会とは
～おばちゃん目線で見ると男女共同参画～」



9月12日(木)
14:00-15:30

谷口 真由美 氏

法学者。大阪大学非常勤講師。
全日本おばちゃん党代表代行。
アザレア・スポーツクラブ理事。

「新産業革命時代のキャリア形成
～私のキャリアは私が創る～」



11月12日(火)
13:00-15:00

橘 フクシマ 咲江 氏

G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長。
現在、コニカ・ミノルタ(株)など数社の
社外取締役を務め他に、人財・キャリア開
発に関する執筆・講演など活動は多岐に渡
る。

II 受講生 募集要項

募集人数
20人程度

- 募集期間：令和元年7月下旬～8月23日(金)午後5時必着
- 応募資格：沖縄県内に在住する概ね20歳から40歳までの女性で、自身のキャリアアップに意欲があり、且つ次の条件を満たす方。
 - ①全6回の予定プログラムを原則毎回受講できること。(但し8講座以上出席、且つ欠席回の内容を録音等で聞いてレポート提出した場合には、出席とみなします。)
 - ②取材、広報、SNS掲載のための写真や録音に支障がないこと。
 - ③修了後の活動状況調査やその他の沖縄県・おきなわ女性財団の事業の広報等について協力頂ける方。
- 選考方法：書類選考
- 応募方法：「応募用紙」に必要事項ご記入の上、FAX・メール・郵便等でお送りください。用紙は沖縄県のホームページ上からもダウンロードできます。
- 選考結果：9月初旬までに文書で通知します。
- 書類提出先：沖縄県子ども生活福祉部 女性力・平和推進課
お問合せ先 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
TEL:098-866-2500 FAX:098-866-2589
e-mail: aa001309@pref.okinawa.lg.jp
- 主催： 沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団



こちらからも→



ロコモ予防体操 × 美尻

6月1日に開催したロコモ予防体操！20代から70代までの計21名の方々が参加くださいました！
そんな人気講座を皆様にもご紹介いたします！

ロコモとは(ロコモティブシンドローム)

加齢に伴う、骨、関節、筋肉などの運動器の機能低下によって、要介護や寝たきりになる可能性の高い状態を言います。現在、ロコモは予備軍を含めると約4700万人と言われ、40歳以上の男女の5人に4人は、「ロコモ及びロコモ予備軍」と推定されます。



1 猫背予防！肩甲骨を動かす (5回×2セット)

- ①手のひらを上にして肘を脇腹につける。
- ②肘は動かさずゆっくり手の平を体の前にもってくる。次にゆっくり元の位置に戻す。



2 下半身をまとめて鍛え、バランスアップ！(5回×3セット)

- ①脚を骨盤より少し広めに開いて立つ。両腕を前に伸ばす。そのまま4秒かけてお尻を突き出しながら、椅子に座る時のように腰を落とす。
- ②視線は前へ、背筋は伸ばしたまま、4秒かけてお尻・お腹を引き締めながら立った状態に戻る。

3 おしりの横の筋肉を鍛えて美脚を目指す！ (5回×2セット)



- ①体の右側を下にして横になり、右手で頭を支え左手は体の前に。右脚を軽く曲げ、左脚はまっすぐに伸ばす。



- ②そのまま左脚を頭の高さより、少し高く持ち上げる。元の足の高さに戻す。反対側も同様に。

4 ぽっこりお腹を引き締める！体幹(腹筋) (5回×2セット)



- ①仰向けになり、膝を立てる。両手は太ももの上に添える。お腹を引き締めた状態で、息を吐きながら、4秒かけて頭から肩甲骨と上体を起こす。
- ②4秒かけてゆっくり元に戻る。

5 背中からお尻の筋肉を鍛える！体幹(背筋) (5回)



- ①仰向けになり、膝を立てる。息を吐きながら4秒かけて骨盤を天井方向へ持ち上げる。
- ②肩甲骨から膝まで一直線になったら、4秒かけてゆっくり下ろす。

100歳まで元気に歩けるカラダをつくる！このことを目標に日々レッスンを行っています。レッスンを通して感じることは、カラダが硬い方や姿勢が悪い方が多いということ。これは、生活習慣が大きく関わっていると思います。長時間のデスクワークやスマートフォン利用により猫背やカラダのゆがみがおこり、肩こりや腰痛、ひざ痛を引き起こす場合もあります。

今回の「ロコモ予防体操×美尻」の受講生の感想では、「こんなに自分の身体がゆがんでいるとは気づかなかった」とお話しされていました。「自分のカラダを知ること・正しい姿勢を保てる筋肉を鍛えること・関節をしっかりと動かすこと」が大切だと思います。

加齢に伴い、筋力や身体機能が低下します。また、沖縄は車社会の影響で運動不足や肥満傾向の方も多いため、肩甲骨や股関節を動かす運動を積極的に取り入れ継続して頂きたいと思えます。まずは無理せず、ラクせず、楽しく、1〜5の運動にチャレンジしてください！

これからも、沖縄のみなさんに元気なカラダをつくる方法をお伝えして、健康寿命(身体機能の衰えや病気などによって日常生活が制限されず、自立した生活を送れる期間)をできる限り長く続けられるように、私自身もいつまでも美しい姿勢で若々しく過ごしていきたいです。



永瀨 悦子(ながふち えつこ)

(ピラティス講師・介護予防運動指導員・健康運動指導士)

福岡県久留米市出身。短期大学卒業後、幼稚園教諭、フリーエアロビクスインストラクターを経て1994年結婚し沖縄へ。現在は、健康づくり、体づくりに関する講演、福祉関係のイベント、ワークショップなどの講師活動。沖縄県内の各行政主催のピラティス教室・子育て支援・生活習慣病予防・介護予防運動などの指導を担当。また、自宅e☆Studioにてピラティスのプライベート・グループレッスンを開講。沖縄タイムス「彩職賢美」、琉球新報「うない」いえジムなど、様々なメディアに活動内容の掲載、ピラティスの監修を行う。

事業報告と講座案内

(公財) おきなわ女性財団

【DV講座(出前講座)】 しつけ(体罰)と児童虐待

実施日：4月23日(火)
講 師：垣花 みち子
(公財おきなわ女性財団常務理事)
場 所：与那原小学校

【スマートフォン・タブレット教室】 いきいきシニアのタブレット教室

実施日：5月21日(火)
講 師：KDDI株式会社認定講師
場 所：ているる1階 ふれあいサロン

【第1回健康教室】 ロコモ予防体操×美尻

実施日：6月1日(土)
講 師：永渕 悦子氏
(ピラティス講師・介護予防運動指導員)
場 所：ているる1階 フィットネスルーム

【第1回相談員研修】相談員基礎研修 ～他機関との役割と連携

実施日：5月23日(木)
◆「女性相談所の役割と連携～沖縄県におけるDVの現状～」 講師：本村 佳世子氏(沖縄県女性相談所相談班 班長)
◆「性暴力被害者ワンストップ支援センターの役割と連携～病院拠点型の移行について～」
講師：漢那 歩氏(沖縄県女性力・平和推進課 男女共同参画班 班長)
◆「児童相談所の役割と連携～虐待の早期発見と未然防止～」 講師：與古田 貴之氏(児童相談所 主幹)
◆「精神保健福祉センターの役割と連携～精神疾患の基礎知識とひきこもり支援について～」
講師：宮川 治氏(総合精神保健福祉センター 所長)

【第2回健康教室】「ミニランボリン 親子で健康体操」

実施日：7月13日(土) 講師：尾尻 孝子氏(うちな～ミニランボ、HAT-Robics JAPAN 公認インストラクター)
場所：ているる1階 フィットネスルーム

参加者募集!

お問い合わせ&お申込み (公財)おきなわ女性財団 TEL:098-868-3717

【男性の家事・育児参画講座】「洗濯男子応援講座」

【日時】8月18日(日)14時～16時
【場所】ているる1階 ふれあいサロン
【講師】沖縄県クリーニング業生活衛生同業組合
【受講料】無料 【対象】関心のある方※男性優先
【定員】20名

2019年度 日本テトラパック株式会社助成 働く母親を応援する男性・子どもの生活自立支援事業 「簡単おいしいわくわくパパと子どもの料理教室」

【日時】9月15日(日)10時～13時 【場所】ているる3階創作室
【講師】石川 かおり氏(調理師・食育アドバイザー)
【受講料】無料 【対象】小学校4～6年生と父親 【定員】10組、20名

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体

童謡・唱歌・うたの教室

実施日：5月8日(水)、6月12日(水)、7月10日(水)
講 師：福井 貞幸氏
(那覇市内の公民館で童謡・唱歌指導)
場 所：ているる1階 ふれあいサロン

●第3回【日時】8月21日(水)14時～16時
【場所】ているる1階 ふれあいサロン
【受講料】1回500円(初回のみ300円資料代)

募集中!

介護予防ビューティタッチセラピー講座

実施日：5月29日(水)第1回「ハンドセラピー」
6月26日(水)第2回「フェイシャル・メイクセラピー」
講 師：チーム「ククル・ドゥ」
場 所：ているる3階 創作室

●第3回「フットセラピー(和室)」
【日時】7月31日(水)14時～16時 【場所】ているる3階和室ゆうな
【受講料】1000円 【講師】チーム「ククル・ドゥ」

募集中!

参加者募集!

ているる夏休み子ども講座

お問い合わせ&お申込み
沖縄県男女共同参画センター管理運営団体 TEL:098-866-9090

しっくいシーサーづくり

【日時】8月11日(日)10時～12時 【場所】ているる3階創作室 【講師】かかずかずこ氏(㈱メイクマンでの手作り教室や児童館、公民館などで講師を務める。) 【受講料】800円 【定員】16名※保護者同伴
【内容】しっくいシーサーを作り、自分の好きな色を塗って仕上げる。

自由研究 -草木染め体験-

【日時】7月27日(土)10時～17時 【場所】ているる3階 生活実習室・創作室 【講師】江谷 紋子氏(アート教室やアート&カラーセラピーを主催。沖縄県立博物館・美術館などで講師を務める) 【対象】小学校5年生～中学3年生 ※小学生は保護者同伴
【受講料】3000円 【定員】16名
【内容】素材や某染剤(布を染まりやすくする薬剤)による染まり方の違いを実験する。

～ている相談室～

沖縄県男女共同参画センター「ている」では相談窓口を開設しています。
相談料は無料(通話料は相談者負担)、秘密(プライバシー)を固く守ります。

	女性相談 TEL : 098-868-4010	男性相談 TEL : 098-868-4011	
	一般相談	特別相談	一般相談
日時	火曜～土曜 10:00～17:00	予約制	日曜と月曜 10:00～16:00
相談方法	電話/面接(面接は予約制)	面接	電話のみ
相談内容	生き方、性格、夫婦・親子関係、対人関係をはじめ様々な悩みや問題に関する相談を行っています。 ◆国際相談 外国人との結婚・離婚などの様々な問題に関する相談。	女性問題に詳しい専門家による各種相談を行っています。 ◆法律相談(月2回) ◆こころの健康相談(月1回) ◆国際法律相談(月1回)	男性からの相談を男性の相談員がお受けします。 男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談を電話でお受けします。 秘密は厳守しますので、ひとりで悩まず、お気軽にお電話ください。
お休み	毎週日曜と月曜、年末年始(12/29～1/3)		祝日にあたる月曜、年末年始(12/29～1/3)

～賛助会員入会・継続のご案内～

当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださるみなさまのご入会をお待ちしております。

頂いた会費は各種事業などに活用させていただきます。

- 特典：情報誌「ているちゃんがいく！」や講演会・講座情報などを文書にてお届けいたします。
講演会や講座等へ優先的に参加、当財団が主催する有料講座は会員価格で受講できます。

- 年会費：個人会員：3,000円 学生会員：2,000円 団体会員：10,000円

※新規は、入会時期(申込日)により金額が異なります。

財団HPをご覧になるか、(公財)おきなわ女性財団(098-868-3717)までお問合せください。

(公財)おきなわ女性財団への寄付のご報告

スタッフが女性のみの鉄板焼ステーキレストランを経営する「株式会社碧」より創業20周年を記念して、女性活躍の促進を目的に(公財)おきなわ女性財団へ50万円の寄付金を頂きました。当財団からは感謝状を贈呈いたしました。頂いた寄付金は男女共同参画社会づくりのために大切にさせていただきます。



【前列左から】
・株式会社碧 代表取締役
奥間弘子 氏
・公財おきなわ女性財団
理事長 新城洋子
・公財おきなわ女性財団
常務理事 垣花みち子

【後列左から】
・株式会社碧 常務取締役
経営企画部長 又吉日登志 氏
・公財おきなわ女性財団
主幹 新里恵美
・沖縄県女性力・平和推進課
男女共同参画班 班長 漢那歩

(6月11日撮影)

(公財)おきなわ女性財団 役員変更のお知らせ

令和元年6月24日の公益財団法人おきなわ女性財団第1回定期評議員会において役員が下記の通り選任されそれぞれ就任いたしました。

【新任】

理事長 大城 貴代子

(前 沖縄県女性団体連絡協議会会長)

理事 松崎 暁史(弁護士)

監事 神谷 幸子(税理士)

【再任】

常務理事 垣花 みち子

理事 稲垣 純一

(専修学校インターナショナルリゾートカレッジ校長)

沖縄県男女共同参画センター「ている」 〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1

発行月：令和元年7月

表紙写真 大屋 玲奈

発行：公益財団法人おきなわ女性財団

TEL:098-868-3717 FAX:098-863-8662

HP: <https://www.okinawajosei.org/>

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体

TEL:098-866-9090 FAX:098-866-9088

HP: <http://www.tiruru.or.jp/>